できることからはじめよう!

2020



城陽エコパートナー通信

Vol.64

発行日: 令和2年(2020年)1月14日

編集・発行: 城陽環境パートナーシップ会議 (事務局) Tel(56)4061 Fax (56)3999

会員数: 289人(12月31日現在)

新年あけましておめでとうございます

▶ 昨年もまた日本をはじめ世界各地で異常気象による災害が発生しました。地球温暖化防止対策は、待ったなしの状況に迫っております。環境問題への取り組みは他人事では済まされなくなってきております。本年も城陽市環境基本計画の推進に向けて市・市民・事業者・市民団体とのパートナーシップを理念に積極的に活動してまいります。 引き続きみなさまのご支援をお願い申し上げます。

会長大野和宣

「城陽生き物ガイドブック~植物編~」が完成しました!

文:事務局





2019 年 3 月より、山村委員を中心に「生き物ガイドブック~植物編~」をどんな内容にするのか検討をはじめました。よく見かけるけどなんという名前なのかな?という素朴な疑問に、山村委員から、名前に加えて野草それぞれの面白いお話しに引き込まれたのをきっかけに、その「面白い説明(ガイドブックではコラム 1~12)」と知っているようで知らない身近な植物、いわゆる「野草」をメインに掲載しようということになりました。

春から秋にかけて掲載用の植物の写真撮影も始まりました。植物の写真は、花に焦点を当てるのか、葉に焦点を当てるのか、群生に焦点をあてるのか…本当に難しいと実感。山村委員とは試行錯誤の繰り返しでした。最後に、宇治市植物公園園長の魚住様に監修いただき、完成となりました。

植物…とりわけ道端の野草は地域の自然環境を映し出す鏡です。園芸種として、法面の緑化として、家畜の飼料として入ってきた植物やその種は、特定外来生物などという難しい言葉で表現せずとも、地域の自然の移り変わりを私たちに感じさせてくれる「ものさし」です。このガイドブックに掲載している野草は、道端や公園や田畑でよく見かける植物ばかりを掲載しました。近くを散策するときに、ぜひ一緒に持ち歩いて使ってみてください。

※ガイドブックは、事務局(城陽市役所環境課)にて、お1人様 につき1冊、配布しております。



左から、井手生活・自然部会長、山村委員、大野会長、中川委員

12月7日(土) 9時45分~オープニングセレモニー 10時~16時 ブース展示・展示内容

[自然部会]では、京都環境フェスティバルで配布開始の「生き物ガイドブック~植物編~」の配布や生体展示(アオダイショウ、シマヘビ、イシガメ、クサガメ、ミシシッピアカミミガメ、スッポンなど)を実施しました。

[循環部会]では、食品ロス削減クイズ(先着 50 名)を実施。クイズ参加者にはフードクリップとサンガのピンバッジ、JoyoEcoChoice、PS 会議活動紹介チラシを配布しました。

生体展示は相変わらず人気で、日頃触ることのできないへどが大人気でした。城陽市内在住の松井優樹君親子にご参加いただき、優樹君が育てているアオダイショウ、シマヘビ、昆虫標本の展示はとても人気でした。また、中川委員が捕獲したスッポンも、間近で見ることができるとあって、こちらもすごい人でした。いずれも城陽の生き物を紹介する良い機会となりました。

食品ロスクイズを 50 人の方に実施しましたが、家庭系の食品ロスの量の多さにびっくりされていました。少しではありますが、食品ロス削減を啓発できたのではないかと思われます。

12月8日(日) 10時~16時 ブース展示

•展示内容

ブース出展開始。展示内容は、7日と同様に実施しました。食品ロス削減クイズ (先着50名)は13時には終了。2日間で100人の方に取り組んでいただきました。







男のエコ料理教室を開催しました! 12月14日(土) 東部コミセン調理実習室 文:米田委員

今回の男のエコ料理教室のテーマは、「食」のウォームビズに焦点をあて「体の内側から温める料理」です。

最近では、男性も料理をされる方が増えていますが、この材料はどんな栄養があるのか、体を温めるのか、冷やすのか、さらに地元の食材を使うことによって無駄なエネルギーを減らすことができるのかなどを知って料理をして食べていただければなぁとの思いもあり、開催しました。

今回のメニューは、「白菜と鶏団子のしょっつるスープ」、「麩チャンプル」、「海老と冬瓜のあんかけ」です。「白菜と鶏団子の

しょっつるスープ」には、冬の野菜の代表である白菜と白ネギを使いました。白い色の野菜は「肺を守る」と言われ、風邪の予防にはピッタリです。他の2品のメニューにも野菜をたっぷり使い、栄養もとることができ、体も温まるものですのでいろいろとアレンジを加え、ぜひご家庭で作っていただきたいと思います。講師の木下先生のご指導をいただき、参加者 11名で楽しく作り、美味しくいただきました。

初参加の方から、こんなに楽しいとは思わなかった、家でも作ってみる!との嬉しいお言葉もいただきました。

これからも「エコ料理 = 健康料理」を、皆さんと一緒に学び、作りたいと思っております。









もったいない! あ~もったいない!! 食べられるのに捨てられる「食品ロス」を減らそう! 文:事務局

日本の食品廃棄物等は年間 2,759 万トン、そのうち食べられるのに捨てられる食品の量は年間 643 万トンで、事業系は 352 万トン、家庭系はなんと 291 万トン! 主に食べ残し、手つかずの食品(直接廃棄)、皮のむき過ぎ(過剰除去)が家庭系食品ロスの発生要因と言われています。

その要因を減らすために私たちにできること…それは食品を「買いすぎない」「作りすぎない」「食べきる」ことです。 では、どんなことができるのでしょうか?そこで、簡単にできる4つをご紹介します!

●買い物前に冷蔵庫内を携帯電話 のカメラで撮影する

同じものを買わなくて済むし、今ある食材が確認できるから、その食材を使った献立が立てられて、必要な物だけ買うことができます。



●食品スーパーで買い物をする際、 すぐ使う食品は手前の棚からとる

期限が短かったり切れてしまうと、食品スーパーで返品や廃棄をしてしまうので「食品ロス」が発生してしまうのです。



●作りすぎてしまった料理はリメイクレシピなどで工夫をする

「クックパッド」「消費者庁のキッチン」でリメイクや食材を使い切るレシピを参考にしてみよう!



●外食では残さず食べる

料理の量(ハーフサイズなど)を選べる店に行く、食べられる量を注文する。 注文し過ぎないことを心掛けましょう。



ここが大切!

食べ物や、生産者への感謝を忘れずに「もったいない」を意識して食品ロスを減らしましょう!

マイボトルの推進〔その 7〕 「ペットボトル水は「健・財」共に NG だ!」

文:小林 駿

■ペットボトル水は衛生的で健康に良く安いかのように錯覚!

ペットボトルは、軽く、安く、しかも透明で大変便利な容器だと誰もが認めるところである。しかも一見リサイクル率が高く環境に良いように思われている。しかしながら、ご存知海洋のプラごみ汚染が大きな課題となり、海洋プラごみの中で一番多いのがペットボトルごみである。細分化されたマイクロプラスチックが、海洋の生態系を脅かし、大阪で開催された G20 でも最大の議題として削減に向けて協議された。 ※右図参照(筆者提供)

ペットボトル水は、水道の400倍高い ペットボトル水(茶) 概算コスト比 ①ごみ回収は行政が負担 ②メーカは、ごみの負担なし ③多く生産すれば利益大 ④ごみ料金の不公平 ⑤市民の税金、個人負担 ⑥マイクロプラを多く含む ⑦欧州等はメーカ負担 ⑧生産抑制・リターナルボトル

■なぜペットボトル水は高いのか!マイクロプラも混入か!

原料となる水を工場へ運び、工場では水を加工してペットボトルに詰める、工場からトラックを使い中間業者を経て使用者の手元に届く、多くは自動販売機で冷やす。この工程で多くの運搬や加工に人手やガソリン等エネルギーが使われる。一方水道水は河川や地下水から採集し加工して配管を通して家庭(使用者)まで届く。なお、最近の調査では、ペットボトル水にはマイクロプラスチックが水道水の22倍ふくまれていることが判明した。しかも、水道水の価格の約400倍高いのだ。

■利き水調査結果!⇒水道水は安く美味しくマイクロプラも少ない

去る 11 月 10 日に京都府南部の木津川市で利き水調査を実施したところ、図のように①水道水が美味しい②フランスのペットボトル水がほぼ同数で③国産のペットボトル水はやや少ない。つまり、美味しさは、あまり差がなかった。昔の水道水はカルキが多く、まずいという風評が残っているのか?現在の水道水の処理技術が各段に進歩してペットボトル水より美味しい。城陽市の水道水は殆どが地下水で美味しい。だから、ペットボトル水を止めて「金属製マイボトル」を使用しよう。 ※右図参照(筆者提供)



イベント

楽しく学べるイベントです。お気軽にご参加ください!

Information

第3回自然観察会 2月11日(火・祝) 北部コミセン 9時集合 12時解散 観察場所:古川流域

城陽市を流れる古川は、冬には多くの野鳥が観察できるフィールドです。 前回は、カワセミの魚の捕食シーンやクイナが観察できました。今回はどんなシーン が見られるかな?ご参加お待ちしております!

●内容: 古川流域での野鳥観察会と美化活動 ※雨天中止(判断しかねるときは、当日8時30分~8時45分に問合せ)

●対 象:市内在住、在学、在勤の人(小学生以下は保護者同伴)

●参加費:無料

●講 師:脇坂英弥氏·岡井勇樹氏(環境生物研究会)

●持ち物:水筒・タオル・帽子・城陽生き物ハンドブック(お持ちの方) ※当日は動きやすい服装で防寒対策をしっかりした上でご参加ください

●申・問: 城陽環境パートナーシップ会議へ直接か電話(56-4061) ※1月16日(木)より受付開始





エコバスツアー 3月4日(水) 城陽市役所南玄関前駐車場 12時 15分集合出発 17時 45分解散

都市ガスに関する知識の習得とエネルギーと環境の密接な関わりを学習する<u>大人の</u> 見学会

●集合·解散:12 時 15 分集合·出発 17 時 45 分解散 ※雨天決行

●見 学 先: 「大阪ガス ガス科学館」(大阪府高石市)

●対 象:市内在住·在学·在勤者

(小学生以下の参加者は保護者同伴)

●募集人数:30名(先着順)

●集合場所:城陽市役所南玄関前駐車場

●持 ち物:筆記用具、水筒

●参加費:無料

●申 ・問:城陽環境パートナーシップ会議へ直接か電話(56-4061)

※2月3日(月)より受付開始 ※昼食は済ませてご参加ください





東 城 陽 ゴルフ倶 楽 部

〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山 1-48 TEL: 0774-52-1161

株式会社 城 南 工 建

〒610-0113 京都府城陽市中芦原 27 番地の 1 TEL 0774-53-3939 FAX 0774-55-1172

日本観光ゴルフ株式会社城陽 カントリー倶楽部

〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山 1-46

株式会社 玉 井 開 発

〒611-0031 京都府宇治市広野町西裏 30 番地 1 TEL 0774-44-3351代 FAX 0774-41-7007

次の団体・個人から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

イズミヤ(株)大久保店、近畿砂利協同組合、京都城陽ロータリークラブ、サントリープロダクツ(株)宇治川工場、 (株)城南工建、城陽市、城陽商工会議所、城陽金融会、星和電機(株)、(株)玉井開発、長池工業(株)、日本観光ゴルフ(株) 城陽カントリー倶楽部、東城陽ゴルフ倶楽部、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光

※令和元年 12 月末現在(五十音順・敬称略)